

【ハイパーターミナルによるデータ転送】 (M-1930/1931/1893 の場合)

1. 概要

WINDOWS 95 のハイパーターミナルを使用して M-1930/1931/1893 をパソコンと接続し、リモートモードでの動作を可能とします。デバイスの動作範囲を指定しなければならない場合や、データ転送する場合に、リモートソフト「PPC-WIN、XPROM」等をお持ちでない場合に使用します。

2. パソコンとM-1930/1931/1893 の接続

RS-232C ケーブル (ストレート) で接続してください。

3. M-1930/1931/1893 側の設定

通信条件の設定 (ボーレート等...)

「MODE」キーを2回押し「CONFIG.I/F」を表示させ「ENT」キ-を押してから設定する。ボーレート等それぞれ「」キ-で選択したら「ENT」を押していく。最後に「START」キ-を押すと、の設定が保存されます。

転送フォーマットの設定

「MODE」キーを2回押し「CONFIG.I/F」を表示させ「」キ-を押し「CONFIG.FORMAT」が出たら「ENT」キ-を押し「」キ-で選択後、「START」キ-を押し設定完了です。コマンド形式を選択 (m1900 モードを推奨します)

「MODE」キーを2回押し「CONFIG.I/F」を表示させ「」キ-を2回押し、画面に「CONFIG.REMOTE」が表示されます。「ENT」キ-を5回押し「COM TYPE」の表示のところで「」キ-を押し「COM TYPE m1900」を選択したら「START」キ-を押し設定完了です。

4. パソコン側の操作

パソコンを立ち上げWINDOWS 95 のハイパーターミナルを起動する。

新しい接続のダイアログが出るので、名前を入力しアイコンを選ぶ。(ここは新しい接続時の設定をキャンセルし、ターミナル画面の状態、メニューのなかの「ファイル」の「プロパティ」をクリックしても結構です)

電話番号のダイアログが出たら、「COM1 ヘダイレクト」に設定して通信条件をロムライターと合わせOK をクリックします。

キーボードから「Ctrl」を押しながら「E」を2回押しして下さい。(入力はずべて大文字)

ロムライターの液晶表示が「REMOTE MODE」となり、パソコン画面上に「#」マークが表示されます。(この状態にならない時は、通信条件が合っていないかケーブルに問題があることが考えられます)

上記のような状態になれば、パソコンがロムライターのターミナルとして動作していますので、「#」マークに続けてコマンドをキー入力していただければリモートで操作が可能です。コマンドの内容については「#」のあとに「H」「リターン」によりヘルプが表示されますので参考にしてください。

【ハイパーターミナルによるデータ転送】

(M-1930/1931/1893 の場合)

5. パソコンからロムライターへのデータのダウンロード

「RL」と入力し「リターン」

(ロムライターの表示が「REMOTE MODE」のままですがデータフォーマットの入力待ち状態となります。

ハイパーターミナルのメニューの「転送」の中の「テキストファイルの送信」をクリックし、ダウンロードしたいファイルを選択し「開く」をクリック。するとダウンロードが開始されます。

正常にダウンロードが終了すると、パソコンの画面上に「#」のみ表示されますのでこれで完了です。

以上